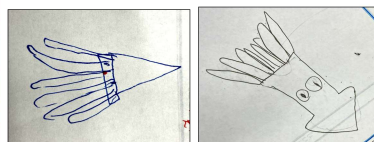


J-Trial冬 第4弾 イカの解剖は「イカ」が

令和5年12月15日（金）、イカの観察と解剖を行いました。担当は、赤塚先生、齋藤花夏乃先生です。

まずは、各自が持つイカのイメージを描きました。楽しい絵がいっぱいできました。



おいしく食べているすしやイカ焼きならわかるのに、全体の形までは認識できていないのですね。

観察開始

解剖台の上に、スルメイカが並べられました。これから観察を始めます。生物を観察するときは頭を上にして描くことになっています。

皆さん、イカの頭はどこにあるかご存じですか？

イカは軟



体動物門頭足綱十腕形目に属しています。頭から腕が出ているので、三角形のエンペラが一番下なのです。左下の写真参照

目の位置と特徴

左右の目は頭の真横について、前と後ろを同時に見ることができます。エサや敵を360°の平面で捕捉します。

イカの目は2種類あります。開眼目と閉眼目です。まぶたのある方が開眼目でスルメイカはこちらです。人間の目に近いのです。まぶたの確認も行いました。

口の位置と形態

足をかき分けてやっと思える所に黒い口があります。ピンセットでつまむと硬くて先だけが白いものが1対出てきます。カラストンビです。



漏斗(ろうと)の役割

敵から逃げるときに、水や墨を吐いたりするところです。実際に外套膜に水を入れて、この漏斗から水が噴き出すことを確認しました。



解剖開始

漏斗のある所から、外套膜にはさみを入れて、一気にエンペラの先端まで切り上げ、開きます。



内臓が見えてきました。どこが食道、胃、腸なのかわかりにくいので、口からスポイトで醤油を入れます。すると順番に色が変わっていき、そ

れぞれの臓器の場所を特定できました。また、注意深く墨袋を取り外し、水の入ったビーカーに入れると一遍に水が黒くなりました。

眼球の解剖

視神経や水晶体を観察する



ことができます。取り出した水晶体を新聞紙の上に置くと、字が大きく見えます。凸レンズになっているのです。

参加者の感想



○あまりイカを見たりする機会自体なかったけど、イカの細部や墨の発射する位置、脳みその位置を知って楽しかった。すごく内臓がグロかった。

○今日はイカの解剖をしました。生き物の体の中身をじっくり見たのは初めてだったので、少し怖かったです。けれども、イカの口はどこにあるかやイカ墨は体の中でどのようにしているのかなどイカの体についてよく知ることができた。

○イカの知らなかった部分をたくさん知れて良かったです。墨の入っているところを初めて見たのですが、意外と小さくてびっくりしました。一番の驚きは自分の解剖していたイカにアニサキスがいたことでした。あの小ささじゃ間違っって口にしてしまうのも無理ないですね…

○イカの解剖が初めてだったので、楽しかったです。絵を描くのが難しかったです。